

大成ロテック 低溫にひび割れ抵抗性 釧路市内国道に実適用

大成ロテックは、従来の北海道型砕石マスチックアスファルト混合物(SMA)より耐久性に優れた新たな舗装「ハイパーマスチック」を開

発し、北海道釧路市内の国道に実適用した。気温60度の条件下で耐流動性を確保し、気温4度の低温時でも高いひび割れ抵抗性を発揮する。簡易排水機能や騒音の発生抑制も期待できることから、全国的な展開も視野に入れている。

ハイパーマスチックに使用している特殊改質アスファルトは、低温時の温度応力や変

形追従性に優れる。札幌市や他府県で高耐久型薄層舗装などに採用した実績があり、耐久性の向上と温度応力によるひび割れ、骨材飛散、凍害などによる機能低下の抑制が期待できる。

重交通道路に使われるポリマー改質アスファルトⅡ型と比べ、気温60度の条件下での耐流動性を確保しつつ、気温25度の条件下で3倍程度の軟らかさ、気温4度の低温時でも40%程度の伸びが得られる。



ハイパーマスチックの舗装表面

実適用したのは、北海道開発局が発注した釧路外環状道路(一般国道38号)と北海道横断自動車道(本別IC〜釧路西IC)。2路線の一部区間を試験施工区間とし、それぞれ1200平方メートル(5・9×200メートル)と2500平方メートル(5・9×210メートル×2車線)を施工した。両路線とも3月に開通予定しており、継続的に追跡調査を実施して長期耐久性について検証する。

試験施工でのハイパーマスチックの混合物性状は、動的安定度4500(回/ミ)、舗装のキメ(凹凸)は1・4ミで、ともに北海道型SMAの規格を満たしている。